

和文化 シンポジウム

参加費無料
事前登録制

日時

令和6年2月20日(火) 14:00~16:10

会場

農林水産省講堂

(東京都千代田区霞が関1-2-17F)

定員

先着200名

プログラム

基調報告

和の生活文化を未来へ繋ぐ

内藤誠治氏 畳でおもてなしプロジェクト実行委員会・チームリーダー

事例紹介

畳

今、畳を選ぶ人

石河恒夫氏 全日本畳事業協同組合 理事長

茶

日本茶を売らない日本茶専門店 ～急須の意識改革～

奥村静二氏 日本茶インストラクター協会 専務理事

着物

“装い”は誰のために

奥田彰氏 東京織物卸商業組合 理事長

花

“花”はどこへ行った

粕谷尚弘氏 公益財団法人日本いけばな芸術協会 理事

パネル ディスカッション

不易と流行 ～産地と消費者を結ぶ和の新しいライフスタイル～

パネラー : 事例紹介者

モデレーター : 田中仙堂氏 東京茶道会 理事

和文化は、日本の自然にはぐくまれた幸をいつくしむ心の在りようであり、この幸を楽しむ知恵でもあります。この知恵を生かして日々の暮らしを彩る生活を支える新しい市場を作るために、畳・お茶・いけばな・着物の生産から流通消費に関わる関係者が、和文化・産業連携振興協議会に集っています。

今回は、い業が作り出す和文化のシーンを支える畳、蚕糸業が紡ぎ出す着物、茶業から広がるお茶の文化、花き産業に彩られたいけばなの各代表者が集まって、未来に新たな和文化生活を築いていくための生産から消費、産業の枠を越えたシンポジウムを開催します。業界関係者の方に限らず、和文化に興味を持たれる皆様の参加をお待ちしております。

申し込み
方法

右記QRコードより内容を確認の上、
お申込みをお願いします。

締切：2月15日(木) 12:00



問合せ先

農林水産省農産局
果樹・茶グループ
三村、高良

TEL 03-6744-2512

※ お申込みによって得られた個人情報は、厳重に管理し、本シンポジウムの運営のみに使用させていただきます。

主催：農林水産省、和文化・産業連携振興協議会

和文化・産業連携振興協議会 について

和文化・産業連携振興協議会は、和文化に深く関わる業界からの自発的な要請を受けて農林水産省の生産局（当時）が定期的に開催した「東京オリンピック・パラリンピックを契機とした和の文化の発信に係る打ち合わせ」での検討を踏まえ、い草（熊本県い草生産販売振興協会・畳でおもてなしプロジェクト実行委員会）、茶（日本茶業中央会・東京茶道会）、花き（日本いけばな芸術協会）、蚕糸（大日本蚕糸会）の四業界が初めて横断的に連携し、それぞれと関連の深い和文化団体との連携を深めていく組織を令和元年6月に結成したものであります。



協議会が発足して間もなく、新型コロナウイルス感染症が拡大し、世界中がパンデミックとなりましたが、コロナ禍でも生産・文化団体との連携を広げ、和文化発信の核となるべく、令和3年度には、『和文化生活宣言』を策定しました。令和4年・令和5年度は、「きもの日」オンラインシンポジウムを農水省と共催してまいりました。

今回の和文化シンポジウムは、生産から流通・消費、業界の枠を越えた和文化・産業連携振興協議会の特性を生かして、い草・蚕糸業・茶業・花き産業に関わりの深い関係者が一堂に会して、新たな和文化の未来を築いていくための一歩となるものです。



一 和文化生活宣言 一

和文化とは

日本の自然にはぐくまれた幸をいつくしむ心の在りよう

和文化は、日本の大地にはぐくまれた幸を楽しむ知恵です。
この知恵を生かして日々の暮らしを彩る生活を支える新しい市場を作るために、
私たちは、和文化・産業連携振興協議会に集いました。

和の生活文化は

- 一、日本の美しい四季と共にあります
- 一、和の素材を作る産地に支えられています
- 一、日本人の人を想いやる心によって育てられてきました
- 一、日本のおもてなし文化を育んできました
- 一、日本が世界に誇る文化です